

第39回全国健康福祉祭東京大会(仮称)

基本構想策定委員会(第1回)資料

令和7年7月2日 東 京 都

<事務局説明>

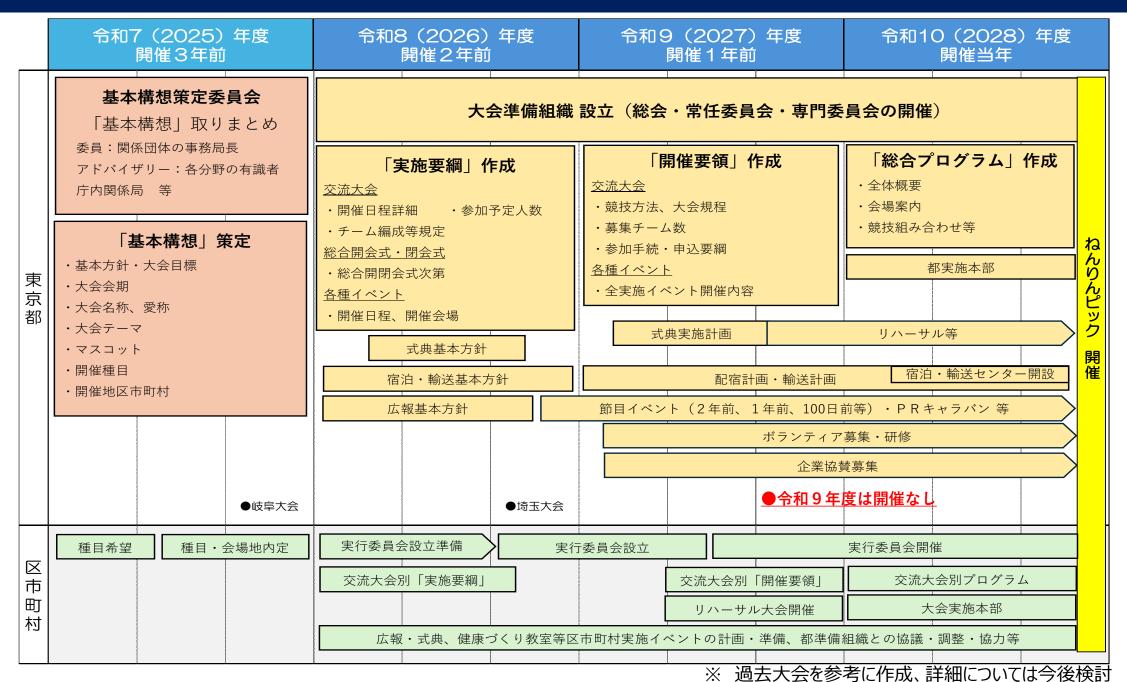
(1)	全国健康福祉祭(ねんりんピック)の概要・・・・・・・・・・・1
(2)	ねんりんピック東京都開催に向けたスケジュール(案)・・・・・・・2
(3)	第39回全国健康福祉祭東京大会(仮称)基本構想について・・4
(4)	東京都が日指す「長寿(Chōiu) 社会 ・・・・・・・・・・ 5

全国健康福祉祭(ねんりんピック)の概要(過去大会の例)

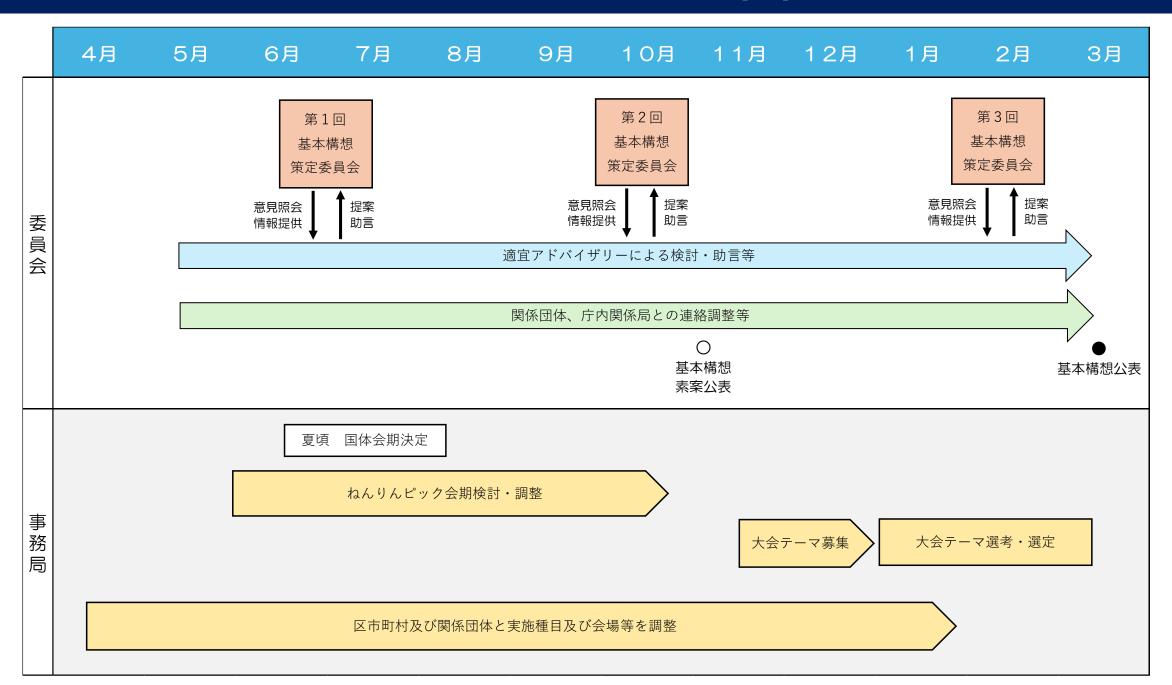
主	催 厚生労働省・開催都道府県・(一財)長寿社会開発センター ※共催:スポーツ庁
開催時	期 例年10月前後の4日間(土曜日~火曜日)
開催	地 47都道府県で持ち回り開催(R 4 : 神奈川県、R 5 : 愛媛県、R 6 : 鳥取県、R 7 : 岐阜県、R 8 : 埼玉県)
参加	者 全国の選手(60歳以上)・役員 約1万人(都道府県+政令市の67選手団)※観客等を含めた延べ参加者は約60万人

開催事	開催事例(先催県 例)							
	総合	来賓:三笠宮彬子女王殿下、厚生労働大臣 ほか 参加者:選手 約10,000人、観覧者 約2,000人						
 式典	開会式	〇式典前アトラ	ラクション→選手団による入場	景行進→式典→インタ	ーバル(選手はスタンドに移動)→歓迎ア	トラクション	/	
N M	総合	参加者:選手作	代表や関係者 約1,000人					
	閉会式	〇式典前アトラ	ラクション→選手代表入場→大	∖会旗引き継ぎ→式典	!→インターバル(選手はスタンドに移動)-	→歓迎アトラ	ラ クション	
スポーツ	ツ交流大会	【10種目(必須	須開催)】卓球、テニス、ソフ	フトテニス、ソフトホ	ヾール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、 ⁻	マラソン、戸	3道、剣道	
ふれあし	ヽスポーツ	【10種目程度	(過去に開催された種目を中心	いに開催県選択開催)	グラウンド・ゴルフ、太極拳、ソフトバレ	ーボール、		
交流	允大会	ウォークラリ-	一、サッカー、なぎなた、水泳	く、ダンススポーツ、	ボウリング、ラグビーフットボール 等			
文化を	を流大会	【4種目程度	(過去に開催された種目を中心	いに開催県選択開催)】	囲碁、将棋、俳句、健康マージャン 等			
関連~	イベント	○ふれあいニュースポーツ: e-スポーツ等のニュースポーツ紹介・体験コーナー ○健康フェア: 医療、健康、食生活に関する展示・体験・相談コーナー等 ○地域文化伝承館: 老人クラブ等が取り込んでいる伝統芸能・生活文化の展示・実演 ○健康福祉機器展:健康で安心安全に生活するための健康器具等を展示・紹介 ○ふれあい広場: ご当地グルメの提供や特産品販売のほか、芸能人のステージ 等 ○音楽文化祭: プロによる演奏会と都内の高齢者グループ等による合奏・芸能の上演会 ○シンポジウム:高齢者の生きがい・健康をテーマとしたシンポジウム						
			ら募集した日本画、洋画、彫刻、工芸、書、 		○シンポジウム:高齢者の生きがい・健康をテーマとした: 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	1日目	1 (土)	2日目	(日)	3日目(月)		4日目 (火)	
	総合開会式 スポーツ・文化交流大会(健康づくり教室併設) 総合閉会式						総合閉会式	
	ふれあいニュースポーツ・健康フェア・地域文化伝承館・健康福祉機器展・ふれあい広場							
	音楽文化祭						ジウム	
	美術展							

東京大会に向けた主なスケジュール(案)



基本構想策定スケジュール(案)



第39回全国健康福祉祭東京大会(仮称)基本構想について

1 基本構想の目的

第39回全国健康福祉祭東京大会(仮称)今後の具体的な準備、企画、運営を進める上で、基本的な方向性を示す指針とする。

2 全体構成

項目	内容
I 基本方針	1 基本方針2 大会目標
Ⅱ 大会概要	 1 名称(第39回全国健康福祉祭〇〇大会 等) 2 愛称(ねんりんピック〇〇2028 等) 3 主催:厚生労働省、東京都、(一財)長寿社会開発センター 4 共催:スポーツ庁 5 テーマ 6 会期 7 参加予定人数 8 シンボルマーク(大会共通) 9 マスコットキャラクター
Ⅲ事業体系	1 総合開会式・総合閉会式の開催日及び会場2 交流大会実施種目及び会場区市町村

東京都が目指す「長寿(Chōju) 社会」

都が策定した各計画の取組・方向性(抜粋)



2050東京戦略



東京都スポーツ推進総合計画 (令和7~令和12年度)

Chōju 長寿

東京都高齢者保健福祉計画 (令和6~令和8年度)

2050年代のビジョン「心豊かに暮らし、いつまでも輝けるアクティブなChōju社会」

- ・3人に1人が高齢者になる「超超高齢社会」。高齢者の定義がなくなりエイジレスに活躍
- ・自動運転など最先端技術が移動を支え、デジタルを駆使した交流がいつでもどこでもつながる
- ・A I やロボットを融合させた東京都版介護が世界のスタンダードへ
- ・高齢者や認知症のある人がいつまでも安心して暮らせるまちに

2030年までの政策強化の方向性「ねんりんピックの開催を契機としたシニアスポーツ振興」

- ・スポーツを通じた健康維持・増進
- ・スポーツを通じた社会参加や仲間づくりの促進
- ・高齢者が活躍できる機会の創出
- → スポーツを通じて、いつまでも元気に、社会とつながり、いきいきと暮らす

「地域で支え合いながら、高齢者がいきいきと心豊かに、住み慣れた地域で安心して 暮らし続けることができる東京の実現」

(計画のポイント)

・今後の元気な高齢者の増加を見据えた介護予防・フレイル予防、社会参加の推進など

<議 題>

(1)	検討事項①	基本方針・大会目標・・・・・・・・・・・・・・・ 7	7
		大会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
(3)	検討事項③	事業体系·会場等······13	(^Y)

検討事項① 基本方針・大会目標

1 基本方針

東京大会の方向性を記載する。

【検討の視点(例)】

- 超高齢社会における新たなモデルの発信
- 新しい高齢者のイメージや未来像の提示
- 100歳まで元気で暮らせる長寿(Chōju) 社会の実現

2 大会目標

基本方針に基づき、具体的な大会目標を記載する。

【検討の視点(例)】

- 東京の強みを活かして高齢者の可能性を拓く
- 高齢者の社会参加や就労等を通じたエイジレスな活躍
- 企業やNPO等との連携によるコミュニティの活性化
- 新たなつながりの創出及び多世代交流の促進
- デジタルなど先端技術の活用によるウェルビーイングの向上
- 東京ならではの魅力を国内外へ発信
- 東京2020大会や世界陸上・デフリンピック等のレガシーの継承・発展

検討事項② 大会の概要

大会名称

「第〇〇(開催回数)回」+「全国健康福祉祭」+「開催地名(漢字又はひらがな)」の組み合わせで構成する。

(過去大会参考) 第38回全国健康福祉祭埼玉大会

第36回全国健康福祉祭とっとり大会

第32回全国健康福祉祭和歌山大会

第37回全国健康福祉祭ぎふ大会

第35回全国健康福祉祭えひめ大会

第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会 第33回全国健康福祉祭ぎふ大会(R2延期後、R3開催中止)

第31回全国健康福祉祭とやま大会

2 愛称

「ねんりんピック」+「開催地名(漢字又はひらがな)」+「西暦」の組み合わせで構成する。

※ 開催地名の前後に、地域性等を持たせた言葉を組み合わせる場合もある。

(過去大会参考) ねんりんピック彩の国さいたま2026

ねんりんピックはばたけ鳥取2024

ねんりんピックかながわ2022

ねんりんピック岐阜2025

ねんりんピック愛顔のえひめ2023

ねんりんピック岐阜2021

3 主催·共催

主催:厚生労働省、東京都、一般財団法人長寿社会開発センター

共催:スポーツ庁

4 大会テーマ

大会開催を幅広くPRし、東京のイメージや大会趣旨に沿ったテーマを掲げるため、公募を実施し、本委員会で選考する。

※ 基本構想の素案公表後に公募を実施予定

(過去大会参考)咲き誇れ!長寿と笑顔 彩の国(埼玉) - 清流に 輝けひろがれ 長寿の輪(岐阜) - 咲かせよう 砂丘に長寿と 笑みの花(鳥取) ねんりんを 重ねた愛顔 伊予に咲く(愛媛) 神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔(神奈川)

5 会期

下記の要件を踏まえ、令和10年10月~11月の間の4日間で会期を検討する。

- ・ 屋外での競技・イベントも多数行われることから、**適度な気温と晴天が期待**できる
- ・ 全国からの選手・役員をはじめ、多くの都民が参加しやすい4日間(土曜日から火曜日まで等)
- ・ 全国規模のスポーツ大会や文化イベントの開催時期と重複しない 例)国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会(令和10年度は長野県)、国民文化祭(令和10年度は愛媛県)等

(参考) 令和10年10、11月カレンダー

	B	月	火	水	木	金	±
	1	2	3	4	5	6	7
10	8	9	10	11	12	13	14
月	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
1	5	6	7	8	9	10	11
- - 月	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		

6 参加予定人数

先催県の延べ参加者数(実績)及び今後決定する実施種目数、イベント数などを勘案して決定する。

フ シンボルマーク

※ 全大会共通



老いも若きも仲よく、ともに生きていく社会をふたりの人物で表しています。 また、2つの円は、その組み合わせにより、お互いに助け合い、健康と福祉の輪が 未来に向かって広がっていくことを意味しています。

8 マスコットキャラクター

大会の統一したイメージを視覚的に周知するため、大会マスコットを制定する。

R 8 埼玉大会	R 7 ぎふ大会	R6とっとり大会	R 5 愛媛大会	R4神奈川・横浜・川崎・相模原大会
コバトン&さいたまっち	ねんりんピック岐阜2025 マスコットキャラクター ミナモ	あか かみ い う う	ねんりんピック 愛顔のえひめ2023 マスコットキャラクター みきゃん	かながわキンタロウ
R 2 ぎふ大会	R 1和歌山大会	H30富山大会	H29秋田大会	H28長崎大会
	和歌山県PRキャラクター		C- 2017	がんばくん
ミナモ	「きいちゃん」	きときと君	んだッチ	らんばちゃん

(参考)

過去大会のマスコットキャラクター

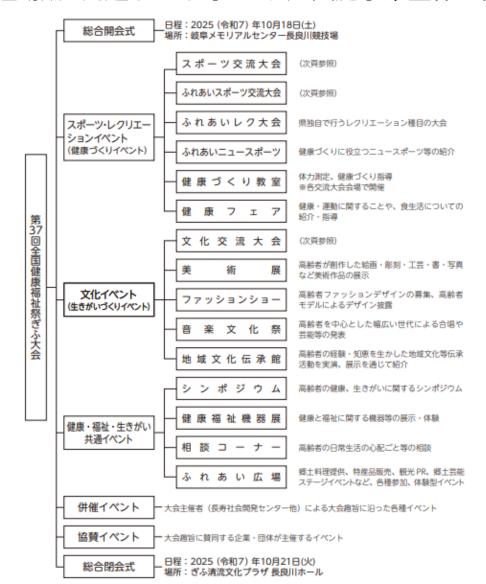
- ※ R6とっとり大会を除き、 既存の県のキャラクターを活用
- ※ ねんりんピックの特色を 活かしたデザインを装飾

検討事項③ 事業体系・会場等

1 事業体系

総合開会式・総合閉会式の日程場所、関連イベント等の大会の実施事業全体を取りまとめる。

(参考) 過去大会の例



※ 「第37回全国健康福祉祭ぎふ大会基本構想」より抜粋

2 会場等の選定

総合開会式・閉会式や、交流大会の会場等については、下記の要件を踏まえ今後決定していく。

(1) 開会式会場

- ・約1万人の選手団を収容できる(過去大会では2万人規模の施設を使用)
- ・ 交通至便や、選手団の輸送バスの駐停車スペースを確保できる
- ・ 一般来場者等も対象とした物販・飲食・体験等の大型の集客イベントも併催できる
- ※ 閉会式会場については、交通至便で2千人規模のイベントホールであること以外特段の要件なし
- ・ 総合開会式・閉会式は都が主催するため、都立施設での開催を検討(過去大会は県立施設で開催)
 - ・ 昨年の鳥取大会の実績を踏まえ、<u>荒**天の可能性も考慮</u>**</u>

(開催イメージ)



令和5年度愛媛大会 開会式(屋外)



令和6年度鳥取大会 開会式 (屋内)



令和6年度鳥取大会 閉会式

(過去大会参考)

年度	大会名	総合開会式会場 総合閉会式会場	最寄駅	参加予定人数	会期				
R4 was uses	横浜アリーナ	JR新横浜駅 徒歩約5分	約12,000人 (実績約12,000人)	11月12日(土)					
2022	神奈川大会	横須賀芸術劇場	京浜急行汐入駅 徒歩約1分 JR横須賀駅 徒歩約8分	約1,600人 (実績約1,500人)	~15日(火)				
R5	愛媛大会	愛媛県総合運動公園 陸上競技場(ニンジニアスタジアム)	伊予鉄道松山市駅 バス約30分 JR松山駅 バス約35分	約20,000人 (実績約17,000人)	10月28日(土)				
2023	 	愛媛県県民文化会館	JR松山駅 バス約21分	約1,500人 (実績約1,500人)	~31日(火)				
R 6	鳥取大会	鳥取県立布勢総合運動公園 陸上競技場(ヤマタスポーツパーク)※	JR鳥取駅 バス約10分	約15,000人 (実績約2,100人)	10月19日(土)				
2024		与以八云	网 双八五	一切以入五	かり入り	初4 人/(五	県立県民文化会館	JR鳥取駅 徒歩約20分	約1,500人 (実績約1,500人)
R 7		岐阜メモリアルセンター 長良川競技場	JR岐阜駅 バス約11分	約20,000人	10月18日(土)				
2025	岐阜大会	岐阜大会	岐 阜大会	岐早 入会	ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール	JR岐阜駅 バス約11分	約500人	~21日(火)	
R 8 2026	埼玉大会	熊谷文化スポーツ 公園陸上競技場	JR熊谷駅 バス約13分	約15,000人	11月7日(土)				
	加工八五	埼玉会館	JR浦和駅 徒歩約7分	約1,200人	~10日(火)				

※ 雨天により鳥取県民体育館で開催

(2) 交流大会実施種目及び会場等

- ① 実施種目
 - ・ 高齢者の身体状況に配慮した競技である
 - ・ 都内に大会運営競技団体等の基盤があり、大会を円滑に運営できる
 - ・ 高齢者に普及しており、全国からの参加が見込まれる
 - ・ 都内の既存施設で実施が可能である
- ② 会場
 - ・ 交流大会の運営は会場地区市町村が行うことから、区市町村の意向を優先する
 - ・ 会場地(競技施設)は、区市町村が保有する施設の使用を基本とする
 - ・ 競技団体の協力が不可欠であるため、会場地 (競技施設) について当該団体の希望も考慮する
 - 周辺宿泊施設の状況、交通の利便性、移動時間等に留意する

(参考) 選定スケジュール (イメージ)

第1回基本構想 策定委員会



各種調整

第2回基本構想 策定委員会



各種調整

第3回基本構想 策定委員会

(7月上旬)

総合開会式・閉会式会場や、交流大会実施種目及び会場等の選定方法を確認

(10、11月頃)

- ・ 総合開会式・閉会式会場の決定
- ・ 各区市町村等との調整状況の報告

(2、3月頃)

・ 実施競技及び会場等の決定